はじめやすい契約形態

- ¥0 初期費用は無料
- 1ユーザー単位で契約できる（※10ユーザーから契約可能）
- 1ヶ月ごとに契約更新できる

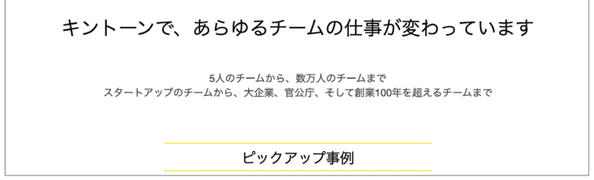
	ライトコース	スタンダードコース（オススメ）	ワイドコース
価格（税抜き）	月額 1,000円 /1ユーザー	月額 1,800円 /1ユーザー	月額 3,000円 /1ユーザー
最小契約ユーザー数	10ユーザー	**10ユーザー**	1,000ユーザー
外部サービスとの連携、プラグイン、拡張機能	×	○	○
大規模利用向け機能	×	×	○
ディスク容量	5GB × ユーザー数		

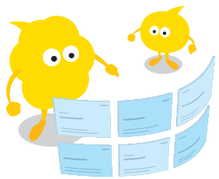
日報・報告書に限らず、様々な用途の事例が多数掲載中

kintoneの製品サイトの「事例」メニューから確認できます

kintone 事例 検索

https://kintone-sol.cybozu.co.jp/cases/





cybozu

サービスに関するお問い合わせは、kintone Webサイトへ

https://kintone.cybozu.co.jp/

※サイボウズ、cybozu、kintone およびサイボウズのロゴマークはサイボウズ株式会社の登録商標または商標です。
※記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。
https://cybozu.co.jp/logotypes/trademark/
(c) Cybozu,Inc.

お問い合わせ先

※2024年秋からの改定後価格を記載しております。

KYRP-003-2406　本カタログの記載事項は変更になる場合がございます。　2024年6月版

お客様のkintoneをのぞき見！

キントーン kintone

日報・報告書

ユーザー事例6選

料金は裏表紙へ！

日報・報告書のよくあるお悩みは、すべてkintoneで解決

1 人によって内容がバラバラ、集計もできない

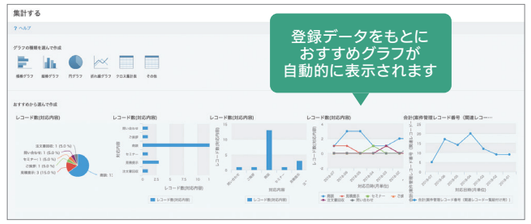
日報や報告書を各メンバーがそれぞれ独自のフォーマットで提出すると、粒度がバラバラになり、確認に時間がかかる。集めたデータの集計も非常に大変。

kintoneで解決！ 統一フォーマットでの一元管理で業務全体を見える化！

統一フォーマットで報告の粒度を揃えて一元管理

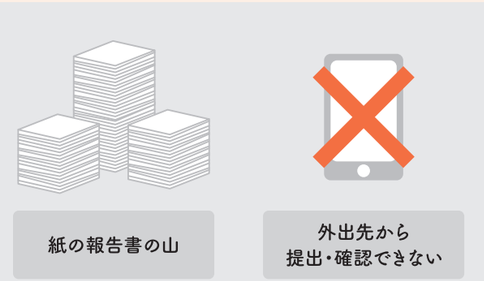
報告させる項目を統一できるので、必要な情報がもれなく集まります。資料も添付できるので、報告の内容を全て1つに集約することが可能です。

ワンクリックで集まったデータを集計



集まったデータはワンクリックでかんたんにグラフ化できます。登録されたデータをもとに「おすすめグラフ」が自動表示されるので、素早く直感的に集計が可能です。

2 現地から報告ができない、オフィスに戻らないといけない



紙やローカルファイルなどでアナログな管理をしていると、日報や報告書はオフィスに戻らないと提出できず、現場からスピーディに情報共有ができない。

kintoneで解決！ 外出先からでもスマホで報告可能！ コメント機能で効率的なコミュニケーションも実現！

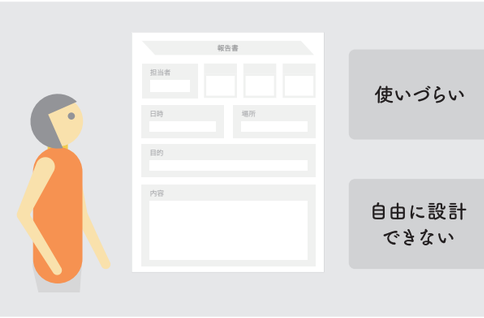
複数デバイスに対応

スマホやタブレットなどマルチデバイス対応なので、時間や場所を選ばず報告を行うことが可能です。日報を提出するためだけにオフィスに戻る必要はもうありません。

各報告に紐づいたコミュニケーション

1つ1つの報告に対してコメントができ、報告内容に紐づいたコミュニケーションが行えます。もちろん、スマホからも閲覧・編集が可能です。

3 自社の報告内容に合わず、使いづらい



報告項目や承認フローなど、自社の業務に合わせて自由に設計できず、使いづらい。システムの改修も、外部業者に委託すると時間がかかってしまう。

kintoneで解決！ ドラッグ&ドロップで自由に設計！ あらゆる報告業務に活用できる！

ドラッグ&ドロップで作成

ドラッグ&ドロップで、絵を描くように自由に設計。すぐに改修もできるため、現場の入力ストレスをスピーディーに解消できます。

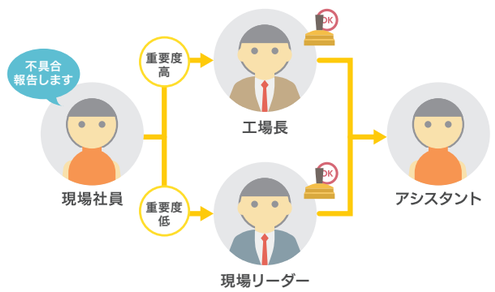
100種類以上のテンプレートも用意

すぐに使えるサンプルアプリも100種類以上。あらゆる報告業務に活用できます。

日報・報告書をもっと楽にするオス スメ機能

業務プロセスに沿った進捗管理ができる「プロセス管理」

提出された日報や報告書を承認するフローを柔軟に設定できます。



「通知・リマインダー」で対応漏れを防ぐ

日時や条件を指定し、通知やリマインドを受け取ることで対応漏れを防ぎます。

閲覧できる人を制限できる「アクセス権」

細かな条件設定でデータの閲覧、編集、削除といった操作権限の制御が可能です。

入力項目数が増減する場合に便利な「テーブル」

複数のデータを1つのレコードに登録するときに、自由に行を追加できます。

データ入力がラクになる「ルックアップ」

他のアプリに登録されているデータを効率的に入力できます。入力ミスや表記揺れを防ぎます。

「関連レコード」で関連情報を一画面に集約

指定の値をキーにして、関連情報を一画面に集約できるので、情報をあちこち探し回る必要がなくなります。

kintoneとつながるクラウドサービス

名刺管理サービスや、ファイル管理サービスなど、kintoneはさまざまなクラウドサービスと連携して利用できます。

Adobe Marketo Engage　box　Dropbox Business　CLOUDSIGN　sansan　freee　slack

kintoneの機能を拡張できる連携サービス

帳票出力やカレンダー、データ集計などkintoneの機能を拡張するさまざまな連携サービスがサイボウズのパートナー企業より提供されています。

●オリジナルの帳票にデータを出力

kintoneに登録された情報から、報告書などを綺麗なフォーマットで出力できるサービスです。

「プリントクリエイター」
提供元：トヨクモ株式会社

「RepotoneUシリーズ」
提供元：株式会社ソウルウェア

「OPROARTS」「ドキュトーン」
提供元：株式会社オプロ

●kintone上のデータを地図上に表示

報告をする際に、作業場所や訪問場所を地図上に表示させることができます。

カンタンマップ アプリ
提供元：あっとクリエーション株式会社

●対応履歴をカレンダー表示

月別・週別・日別表示や色分け表示で日報や報告書の対応履歴をカレンダー形式で表示できます。

カレンダーPlus
提供元：合同会社ラジカルブリッジ

各種連携サービスを利用するためには、**kintone スタンダードコース以上**のご契約が必要です。
また、各種連携サービスの利用料金が別途必要です。

事例 1

紙やエクセルで管理していた日報をkintoneに。情報の見える化で、課題の早期発見、社員の意識改革を実現。

株式会社 ゆうぼく
YUBOKU, Inc.

ゆうぼく

業種

牛や豚の飼育、食肉の加工、流通・販売

利用規模

50名以下

Before

経営判断には不十分なデータ共有
部門同士の情報共有がなく、お互いが無関心

ゆうぼくでは、業務に必要な情報を紙やエクセルで管理していた。そのため情報の不足や欠落が多く、またリアルタイムに情報が共有されないため、代表が経営判断をするには不十分で、対策も後手に回ってしまっていたという。有効な対策が立てられず、業績は伸び悩んでいた。また牛や豚の飼育から食肉加工、流通・販売を一社ですべて行なっている同社では、各部署の事業の性質が大きく異なっているため、社内の情報が全く共有されていなかったという。各部門の拠点は物理的にも離れているため、お互いの業務についてさらに無関心になってしまっていた。

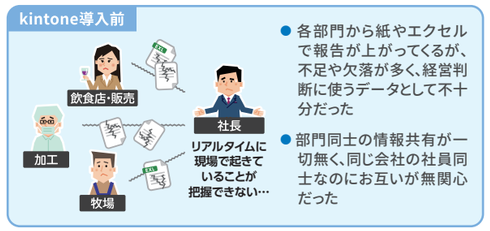
After

kintoneで報告がリアルタイムに届く
課題をいち早く見つけられる環境に

kintone導入後は、各部門から上がってくる日報や報告をリアルタイムに受け取れるようになった。売上の低下や事故が起こった際、kintoneに登録されているデータをもとにすぐに分析を実施。その結果、要因がすぐに推定され、対策の実行から効果検証までスピーディに行うことができるようになったという。

情報がオープンになり、従業員の意識改革も実現

kintoneに登録された情報をあえて社内の誰でも見られるような仕組みにしたことで、従業員の意識も大きく変わった。各拠点の売上状況や報告書、フィードバックまで見れるようになることで、「自分の部門ももっと頑張らなくては」とモチベーションを高めるきっかけになっている。自主的にkintone内の情報を確認するようになったことで、これまでは無関心だった他部門に対して、良い意味でのライバル意識が芽生えたようだ。



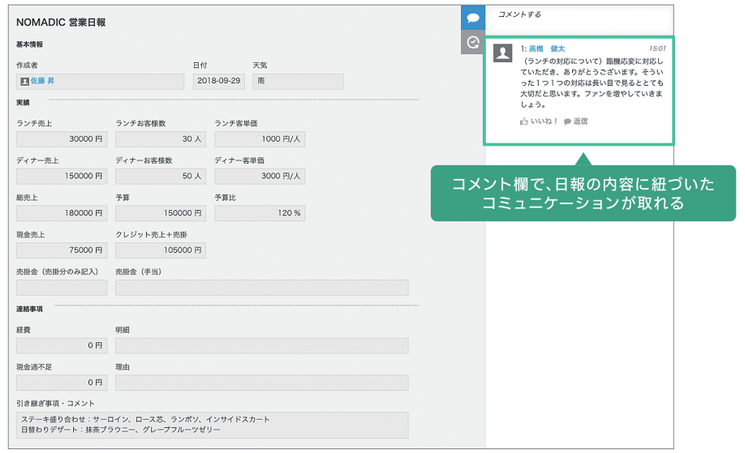
この事例の詳細はこちら https://kintone-sol.cybozu.co.jp/cases/yuboku.html

ゆうぼく様の実際のkintone画面

● 統一のフォーマットでデータ入力し、高い閲覧性で情報の見える化

牛1頭1頭の情報を、細かい数字まで緻密に管理している。フォーマットが揃っており、かんたんにデータの集計ができるようになったことで、牛の死亡などの事故原因が周辺地域に関わる要因であることを見出し、地域レベルでの改善活動につながったこともあるようだ。

● いつどこでもリアルタイムに現場の状況が把握可能



△画像はイメージです

全ての日報をkintoneに移行したことで、手が空いたときに各部門の日報をチェックし、リアルタイムに現場の状況を把握できるように。またコメント欄でフィードバックを伝えることもあり、それを全スタッフが見えるようにすることで、チームの士気向上にもつながっている。

事例 2

面倒な不良品報告をkintoneでかんたんに。ムダ時間削減に加え、報告件数も大幅に増加。

プラッツベトナム

業種

在宅介護用ベッド製造

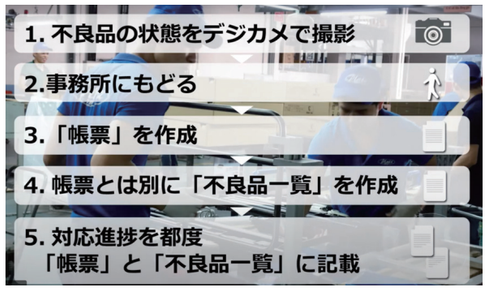
利用規模

50名以下

Before

手書きでの不良品報告に限界 手間が多く、集計も困難

介護用ベッドメーカー大手、プラッツの製造拠点であるプラッツベトナムでは、工場内での不良品報告を手書きで行っていた。工場内で不良品が発生すると、毎回事務所に戻って帳票を作成し、それに合わせて不良品一覧を作成し、不良品の対応進捗を都度記載していく必要があった。対応漏れも発生しやすく、修正が発生した際には帳票と一覧をリンクさせなければならない。またデータの集計に関しても、手書きの情報なので困難。日本からの問い合わせも非常に多く、その都度手書きのデータを倉庫から持ってくる必要も。大変な作業の連続で、手書きでの管理にそろそろ限界を感じていた。



After

工数の大幅削減だけでなく、報告件数も大幅に増加

kintoneを導入したことで、これまでは事務所に戻って帳票を作成する必要があったものが、製造ラインの中で写真を撮り、その場でタブレットを用いて報告が完了するように。kintoneにデータを共有することで、自動的に一覧ができ、進捗管理もできるようになった。帳票を作る時間がほぼなくなったことで、大幅な工数短縮に成功したが、それ以上に大きな成果は報告自体が上がりやすくなったことだった。書類作成が面倒で報告自体が上がっていなかったものが、kintoneによって大幅に増加。今では1週間に70件以上の報告が上がってくるようになったという。そもそも正確な情報が把握できていなかった導入前と比較すると、大きな成果だと言える。

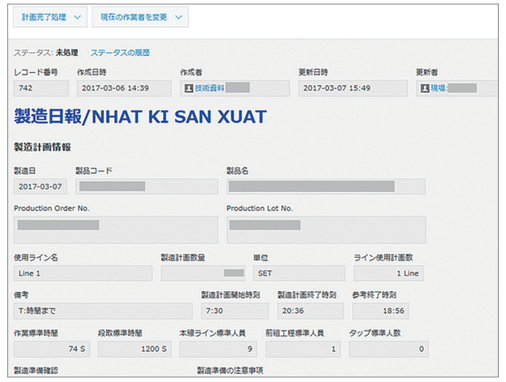
この事例の詳細はこちら https://kintone.asia/user_story_platz_jp.html

プラッツベトナム様の実際のkintone画面

●製造ラインから直接不具合を報告可能に 帳票作成時間の削減＋報告件数の増加を実現

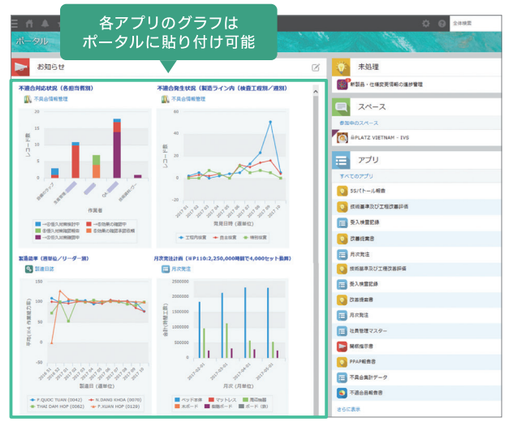
製造ラインから直接タブレットで入力した情報が、kintoneアプリに溜まっていく。データの絞り込みや一覧に表示する項目も自由にカスタマイズできるので、関連する不具合情報を探し回ったり、情報をまとめ直したりする手間が大幅に削減できる。

●製造日誌でチームの作業を見える化



統一フォーマットの日誌を使うことで、各メンバーの作業状況が一元管理できるように。ラインごとの不具合も見えるので、生産効率が落ちている原因も特定でき、改善策の検討ができるようになる。

●製造データはグラフでポータルに



各メンバーが登録した製造データは、ワンクリックでグラフ化できる。kintoneのポータル画面にはアプリのグラフを貼り付けることができるので、メンバーは常に最新のデータを視覚的に確認することが可能になる。

事例 3

開くだけで時間のかかる エクセルの日報から解放。 「失敗できる」kintoneで業務改善を実現。

i-EXCEED

アイエクシード税理士法人

業種

税理士業

利用規模

50名以下

Before

開くだけで時間のかかるエクセル日報 「できれば削減したい業務」に時間を取られる

アイエクシード税理士法人では、各税理士の顧問先への工数管理をエクセルを用いた日報で行なっていた。全社員の日報データを1つのファイルにまとめていたが、そのファイルは開くのに40秒前後、保存して閉じるのにも40秒前後かかってしまっていた。共有のハードディスクにファイルを置き、そのファイルに社員それぞれのパソコンからアクセスして日報を記入していたが、従業員の増加に伴い、ますます管理が困難に。本来の業務ではない日報を書くという「できれば削減したい業務」に時間が取られてしまっていた。

- ハードディスク内のファイルにそれぞれのPCからアクセス
- 開くだけで1分以上かかるため、管理も大変

After

日報管理の煩わしさが解決 顧客管理との連携も

kintone導入後は、ひと月ごとにアプリを作り、社員ごとに1レコード、そのレコードの中のテーブルに実施した業務を記録していく形で運用。開くだけで時間がかかってしまっていたエクセル管理時代に比べて、日々の入力が億劫ではなくなったという。またkintoneはいつでも修正が可能な「失敗できる」サービスであることも魅力に感じているようだ。また日報だけでなくkintoneで顧客管理アプリを作成し、マスタ代わりに。元々はマスタとして使っていたエクセルファイルを読み込む形でアプリ化し、日報アプリと連携。日報作成時に毎回顧問先の情報を書く手間を削減することにも成功している。

- kintone上のアプリにアクセス、顧客マスタとも連携
- スムーズにアクセスできて、より正確な情報を提出できるように

この事例の詳細はこちら https://kintone-sol.cybozu.co.jp/cases/iexceed.html

アイエクシード税理士法人様の実際のkintone画面

どの訪問先にどれだけ時間をかけたか一目瞭然

担当者名 佐藤 昇

テーブル機能を使うことで、各社員の毎月の業務内容が一目で分かるように

新しい顧客の情報はこちらから入力願います。

日付	顧客名	開始時間	終了時間	合計時間	内容
2018-06-01	金都運総研	9:00	11:00	2 h	その他書類作成業務
2018-06-01	林田商会	11:00	11:30	0.5 h	事務所業務
2018-06-01	板橋電子株式会社	11:30	12:00	0.5 h	事務所業務
2018-06-01	新山物産	13:00	14:00	1 h	返送等庶務
2018-06-01	岩下税理士事務所	14:00	14:30	0.5 h	事務所業務
2018-06-01	岡崎商会	14:30	15:30	1 h	事務所業務
2018-06-01	草刈組	15:30	16:30	1 h	事務所業務
2018-06-01	鈴木土地建物	16:30	17:00	0.5 h	事務所業務
2018-06-01	株式会社井上技研	17:00	18:00	1 h	返送等庶務
2018-06-04	仲間建材工業	9:00	12:00	3 h	訪問
2018-06-04	仲間建材工業	13:00	14:00	1 h	訪問
2018-06-04	千葉コールセンター	14:00	17:30	2.5 h	月次入力
2018-06-04	千葉コールセンター	17:30	19:00	1.5 h	月次入力
2018-06-05	塚本ソフトウェア	9:00	9:30	0.5 h	事務所業務

画像はイメージです

最も活用している日報アプリは、ひと月ごとにアプリを作成し、社員ごとに1レコード。そのレコードの中のテーブルに実施した業務を記録していく運用となっている。このデータを見ながら社内会議を行うことで、かかった時間と報酬を見比べ、報酬に見合っているか、または報酬に対して仕事が十分にできているかをチェックしているという。

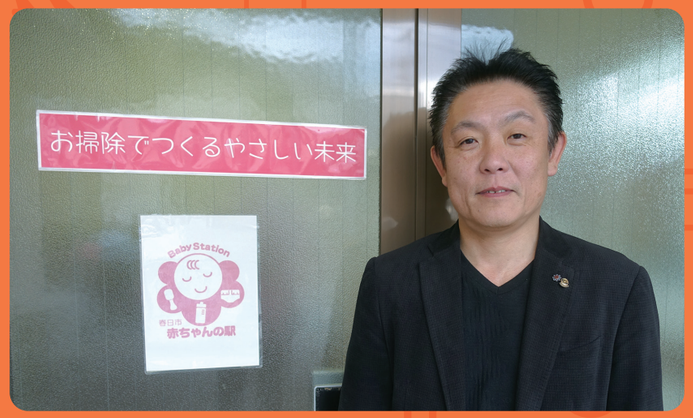
顧客先のマスターデータを日報アプリと連携

画像はイメージです

顧客先のマスターデータをアプリ化し、それを日報アプリと連携することで、日報を書く際に毎回顧問先の情報を一から書く手間を省略することができている。具体的にはマスターデータから日報アプリに各顧客の情報を「ルックアップ」することで、登録された情報が自動的に日報アプリに入力されるようになっている。

事例 4

作業報告の仕事量が3分の1ほどに削減。拠点のない地域まで業務拡大し、雇用を生み出すことに成功。



株式会社
お掃除でつくるやさしい未来

お掃除でつくるやさしい未来

業種

マンションやアパートの共用部分の清掃やハウスクリーニング、チャイルドシートクリーニングなど

利用規模

50名以下

Before

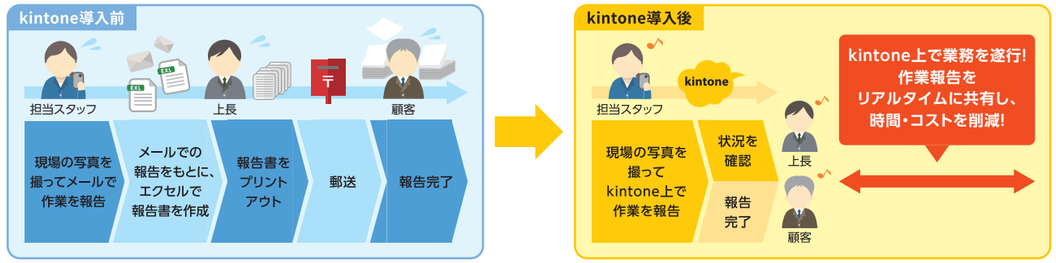
アナログな報告管理で工数増大 報告書のお届けに1ヶ月かかることも

お掃除でつくるやさしい未来では、作業報告書の作成から顧客への提出までのフローがアナログな手法を用いて行われていた。清掃担当スタッフが現場の写真を撮ってメールで作業を報告すると、それをエクセルに落とし込んで報告書を作成。プリントアウトした上で顧客へ郵送していた。このやり方では、報告書を顧客に届けるのに1ヶ月ほどかかってしまっていたという。また拠点のない地域でも事業を拡大していることから、距離の離れた現地スタッフのモチベーション維持にも苦労していた。地元に拠点がなく同僚とも顔を合わす機会がない中で、どのようにしてモチベーションを維持していくのかが大きな課題だったという。

After

報告関連業務が約3分の1にまで短縮！ 顧客と直接つながることでモチベーションもUP！

kintone導入後は現場清掃スタッフが作業終了後に現場の写真を撮り、その場で作業報告をスマホで提出が可能に。またアクセス権を詳細に設定して情報を制御した上で、顧客にもkintoneのアカウントを付与して自分の物件の作業報告にアクセスできるようにしているため、報告がリアルタイムに確認でき、必要に応じて顧客側で印刷できるようになった。その結果、報告に関連した仕事量は3分の1ほどに削減できているという。また顧客と現場スタッフがkintone上でつながれるようになったことで、報告アプリのコメント欄で感謝を述べてくれる場合も。スタッフは価値のあることに自分が携わっていると実感でき、モチベーションの維持にもkintoneが一役買っている。



この事例の詳細はこちら https://kintone-sol.cybozu.co.jp/cases/osouji.html

お掃除でつくるやさしい未来様の実際のkintone画面

スタッフとお客さまがkintoneを通じて直接つながる

画像はイメージです

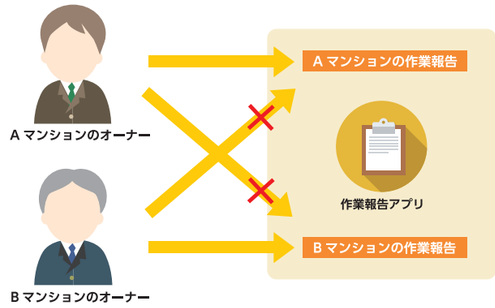
kintoneは主に掃除の依頼元である外部企業とのコミュニケーションに使用されている。掃除スタッフが行った作業報告に対して、依頼元がアクセスして確認する形で、スタッフとお客さまがダイレクトにつながる仕組みとなっている。お客さまの中にはレコードのコメント欄で感謝の気持ちを伝えてくれる方もおり、スタッフは価値のあることに自分が携わっているとより実感できるようになる。

スマホやタブレットでも利用でき、作業現場から入力可能に

画像はイメージです

掃除スタッフが、スマホを用いて現場から直接作業内容を報告できるように。作業報告がリアルタイムに共有され、工数も大幅に削減。

アクセス権で情報を管理



アクセス権を設定し、ユーザーによって閲覧・編集できる情報を制限。

複数の顧客が同社のkintone環境にアクセスしているが、kintone内の情報は「アクセス権」によって詳細に制御されており、各顧客は自分の物件情報にしかアクセスできない形となっている。

事例 5

必要な情報が把握できないメーリングリストでのやり取りから解放。やり取りの質やスピードが上がり、学生の卒業要件達成率100%を達成。

大阪産業大学
OSAKA SANGYO UNIVERSITY

大阪産業大学

業種

学校法人

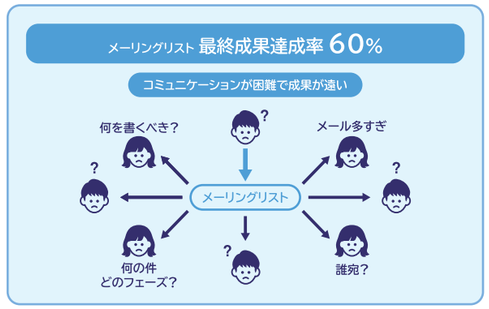
利用規模

50名以下

Before

メーリングリストの利用では、必要な情報の把握が困難

大阪産業大学のヒューマン・ロボット・インタラクション研究室では、学外や自宅での研究活動が求められるため、学生と教員とのオンラインのやり取りが頻繁に発生する。そのやり取りにはこれまでメーリングリストが使われていた。しかし自分に関係のないメールが山ほど届いてしまい、自分に必要な情報の把握が難しい。またメーリングリストでの日報提出は、白紙の画面に報告を書き込むスタイルだったため、「何をどのくらい書けば良いか」が分かりづらい。同研究室の卒業要件には対外発表を行うことがあるのだが、このように教員と学生の質やスピードに問題があったからか、対外発表率は60%程度に留まってしまっていた。



After

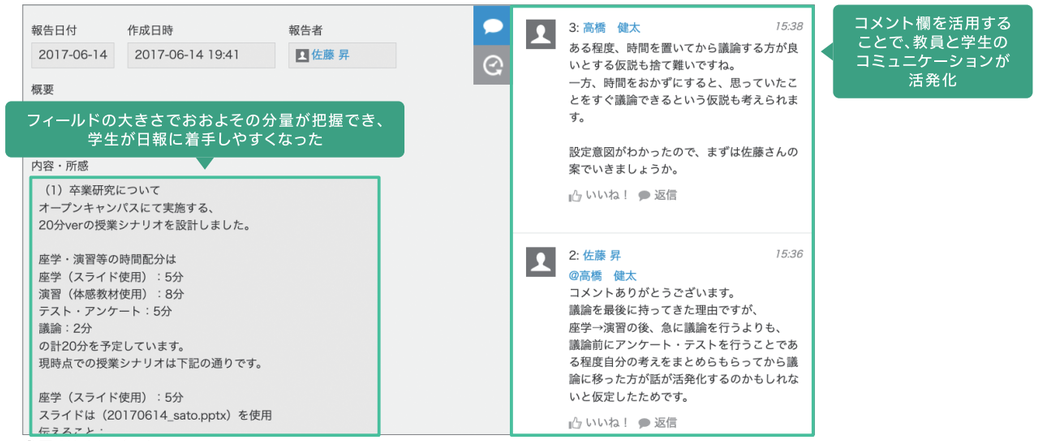
教員・学生間の情報共有が改善したことで、卒業要件達成率が大幅に向上

kintone導入後は、情報が整理されたことで、各自が必要な情報を把握できるように。日報に関しても、kintoneアプリでは記入項目や適切な分量を表示させておけるため、学生は日報に着手しやすく、教員と学生のコミュニケーションが活発化した。kintoneによって一定時間に処理できるコミュニケーション量が増えたことで、研究スピードも格段に上がったという。このように教員と学生間のやり取りの質やスピードが上がったことで、卒業要件である対外発表の達成率は大幅に向上。導入前は60%ほどだったのが、2017年には100%を達成できる見込みだ。

この事例の詳細はこちら https://kintone-sol.cybozu.co.jp/cases/osu.html

大阪産業大学様の実際のkintone画面

●記入項目や適切な分量が分かり、学生が着手しやすい

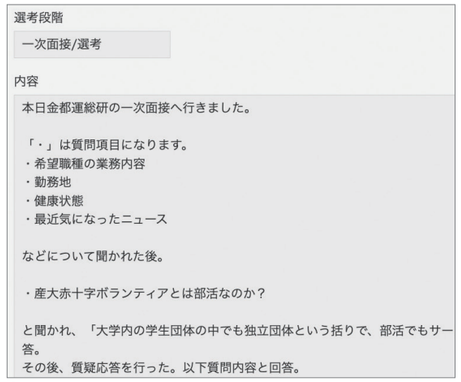


画像はイメージです

kintoneではフィールドの大きさも自由に変更できるので、記入すべき適切な分量を示すことができ、記入する側にとって「何をどのくらい書けばよいか」が分かりやすい。またコメント欄を活用することで、記入する側と確認する側とのコミュニケーションがより活発になる。

●就活の報告をkintoneに集めて貴重なデータベースに

画像はイメージです

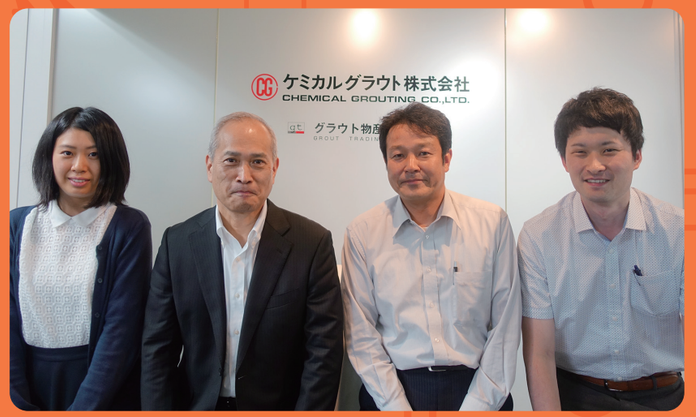


画像はイメージです

「就活報告アプリ」では、学生が受ける企業の説明会、一次面接など、活動段階ごとに内容を細かく記入する。
就活に関する教員への相談やエントリーシートの添削などの指導が受けられる上に、「いつ・誰が・どのタイミングで・どのような行動をしたのか」のデータが溜まっていくことで、クローズドな情報も含んだ貴重な就活データベースとなっている。

事例 6

kintoneで日報や報告書作成の工数が一人当たり年24日削減。現場のノウハウ共有や施工管理の品質向上にも大きく貢献。



ケミカルグラウト株式会社
CHEMICAL GROUTING CO.,LTD.

ケミカルグラウト

業種

地下関連事業

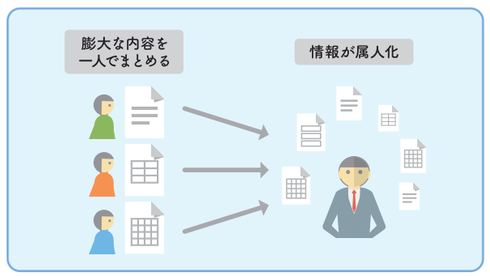
利用規模

50名以下

Before

日報や報告書の作成は残業で。長時間労働が蔓延

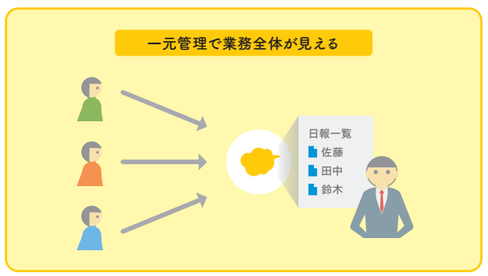
ケミカルグラウトの現場担当者は、日報などを作成する「事務作業」を昼間に行うことができず、現場管理が終了した夕方以降に残業して行うしかない状態で、長時間労働が蔓延していた。またその作業はエクセルを用いて行われていたため、膨大な情報の入力に時間がかかってしまう。さらに現場ごとにマクロが組まれ、属人化したエクセルも数多く存在。長くても一年ほどで担当現場が変わる同社では、新たな担当者がそれらに慣れるだけでも大変な労力となり、事務作業の負担が大きなものになってしまっていた。また工事に関する貴重な情報も各担当者のPC内に保管されてしまっており、ノウハウが共有されず、他の現場に生かすことが難しい状況だった。



After

スキマ時間に作業が可能になり、一人当たり年間24日の工数削減に成功

kintoneを導入したことで、日々の記録をスキマ時間にタブレットから登録できるように。また報告書作成の工数も大幅に削減され、一人当たり年間24日ほどの工数削減に成功したという。その結果、長時間労働も解消されており、若手の離職率も業務改善を始めたことから0%をキープできている。またこの業務の効率化によって本来注力すべき現場管理に時間を割くことができるようになり、これまで以上に安全や品質に対してきめ細かに管理できるようになっている。また現場で入力した数字の修正も本社側で気付けばすぐに修正できるため、ケアレスミスの撲滅にも大いに役立っているという。



この事例の詳細はこちら https://kintone-sol.cybozu.co.jp/cases/chemicalgrout.html

ケミカルグラウト様の実際のkintone画面

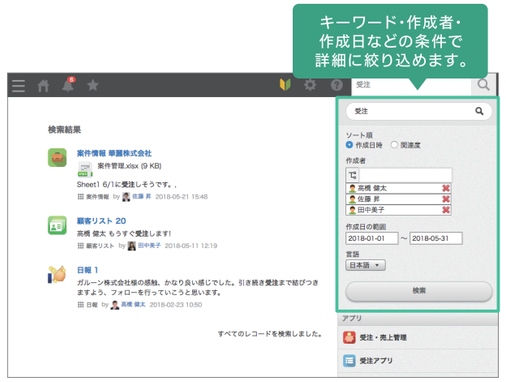
●現場の工数削減やノウハウ共有に寄与した「日報アプリ」タブ表示やテーブル機能で200に及ぶ管理項目も1アプリに集約

実際の日報アプリ

※株式会社日立ケーイーシステムズ提供。拡張機能はスタンダードコースでのみ利用可能。

社員のおよそ半数にあたる150名ほどが日報アプリを活用。現場が立ち上がった時点で本社側で各現場の施工仕様を入力し、現場では人員や配車、燃料、材料、排泥、作業内容、練上量といったカテゴリごとに必要な情報の入力を日々行っている。さらに、入力された情報をうまく抽出することで、現場でのノウハウやトラブル情報の一覧などがまとまって閲覧できる環境に。

●検索機能で自ら情報検索できる環境に



画像はイメージです

検索機能を使うことで、現場担当者自らがkintoneに蓄積された情報にアクセス可能に。情報の検索や共有といった、情報活用に関する課題が解消した。

●タブレット利用が現場浸透のカギに

画像はイメージです

kintoneはスマホやタブレットでも利用可能。同社では、kintoneに慣れてもらうべく、タブレット普及率が一番高いチームから運用をスタートさせた。その結果、口コミで使いやすさを広めることができ、社内浸透に役立った。

kintoneは日報・報告書に限らず あらゆる用途に使えます。

あらゆる用途から一部をご紹介します

顧客・案件管理

社内に散在する顧客情報や案件情報を一元管理し、
効率的な営業活動を実現します。

クレーム・問い合わせ管理

登録時、関係者に通知できるので、
対応確認や指示をスピーディーに行えます。

交通費・物品購入など 各種申請

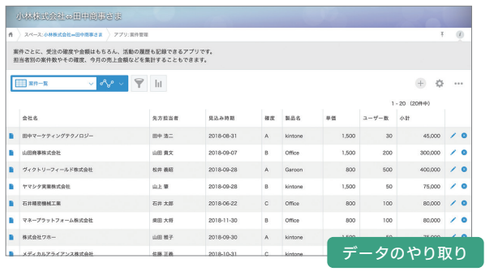
各種決裁ワークフローをkintone上で実現できます。

ファイル管理

提案資料や各種カタログなどのデータを保存し、
ノウハウを共有できます。

社外の人とのやり取り

社外の人とkintone上でデータのやり取り、コミュニケーションが可能です。
1対1のコミュニケーションによる情報の属人化や連絡漏れをなくし、複数企業間でのコミュニケーションを効率化します。

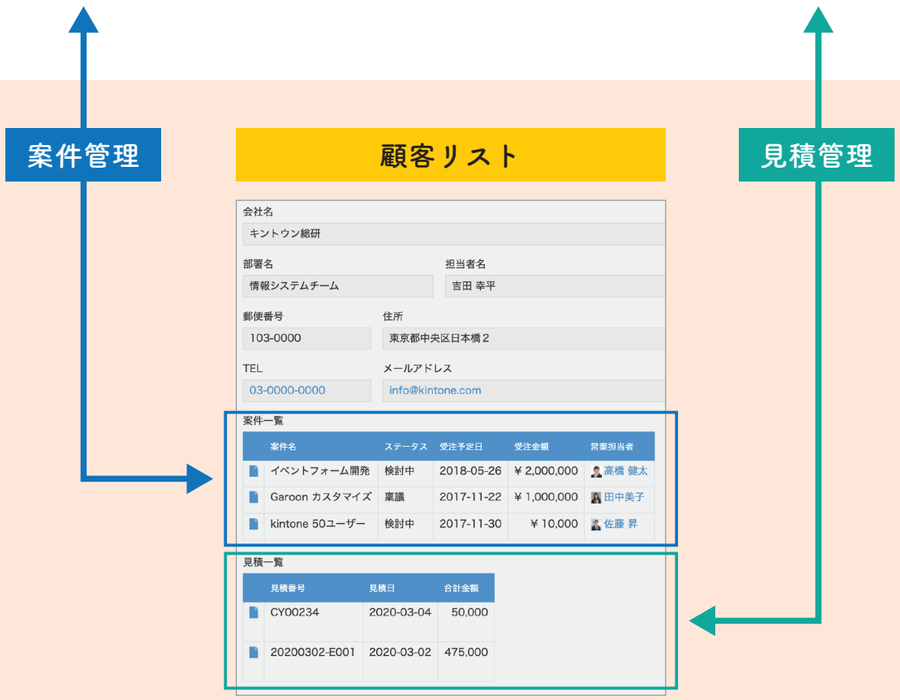


案件管理・商談履歴

案件の進捗や内容、提出した資料などをまとめて管理でき、
担当者でなくても状況を把握できます。

見積管理

見積の作成から承認までkintone上で完結できるので、
顧客への対応スピードを向上できます。



各用途で集まったデータを
顧客リストと関連付けることも可能

関連レコード機能を使えば「顧客リスト」を元に、さまざまな情報を相互に関連付けできます。
関連付ける情報は、案件、見積、問い合わせ履歴など、自社の業務に合わせてカスタマイズ可能。
この機能を使えばせっかく集めたデータがバラバラになることはありません。

kintoneを使えばシステムまわりの
コストカットができるかな

会社の課題を 芋づる解決できる
kintoneで広げる 業務改善マップ

kintoneにまとめることができたら
経営状況も見える化できそうだ

Point 1

顧客・案件管理や
脱エクセルなど
あらゆる用途に使える！

Point 2

社内ポータルや
申請業務など
全社利用に広げられる！

Point 3

会社の情報を
一元管理できるから、
経営状況を見える化できる！

全社で使う

通達

- 社内指示/通達
- 全社ポータル
- 社内アンケート

文書管理

- マニュアル管理
- 契約書管理

申請・承認

- 押印申請
- 社内稟議申請
- 経費申請
- 出張申請
- 勤怠申請

社内FAQ

- ナレッジ共有
- 社内質問箱

社外の人とのやりとり

- プロジェクト管理
- コミュニケーション
- ファイル共有

各部門で使う

営業・顧客サポート部門

- 顧客情報管理
- 案件管理
- 見積書管理
- 活動履歴管理
- 問い合わせ管理
- コールリスト管理

人事・総務部門

- 契約管理
- 社員名簿
- 採用管理
- 入退社管理
- 研修コンテンツ管理

マーケティング部門

- タスク管理
- 制作物進捗管理
- イベント管理
- 外注先管理

システム部門

- 問合せ管理
- 貸出機器管理
- IT資産管理
- ヘルプデスク窓口

販売管理部門

- 受注管理
- 発注管理
- 請求管理
- 支払管理
- 出荷指示管理
- 入金管理

経理・財務部門

- 商品管理
- 入出庫管理
- 棚卸管理
- 原価計算

生産管理部門

- プロジェクト管理
- 作業内容/実績登録
- 生産計画管理
- 評価管理
- 工数管理

など

kintoneで日報・報告書について もっと詳しく知りたいあなたに

kintoneの機能を実際の画面で 試したい！

1 まずは、kintoneの無料お試しの申し込みをしよう！

お試し申し込みURL
https://kintone.cybozu.co.jp/trial/

申込フォームに会社名や
メールアドレスなどの情報を入力。
最後のページで「お試しを申し込む」をクリック！

しばらくすると、入力したメールアドレス宛てにお試し環境へのログイン用メールが届きます

※お試し期間中は、スタンダードコースのすべての機能をご利用いただけます。
※30日経過しても自動的に課金されることはありません。

2 サンプルアプリから「日報」アプリを追加しよう！

まずはサンプルアプリから「日報アプリ」を追加してみましょう。
追加したアプリは、ご自身で自由にカスタマイズすることも可能です。

kintoneにログイン

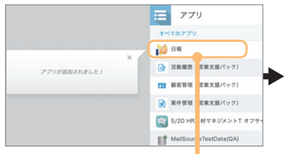
「アプリ」の「＋」をクリック

検索窓で「日報」と検索すると複数の日報アプリがヒットします。

お好きなアプリを選択して「このアプリを追加」をクリック

「サンプルデータを含める」にチェックを付けると、レコードにサンプルデータが登録された状態でアプリが作成されます。

「追加」をクリック



アプリが追加されました！

アプリを使ってみよう！

アプリの使い方の詳細は…

別冊：
ここからはじまる
kintone導入ガイドブック

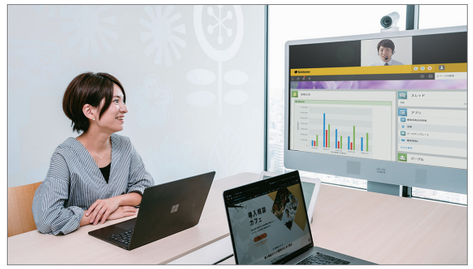
kintoneで日報・報告書業務を 相談したい！

● サイボウズに相談する

まずはここから！

オンライン相談する

専門スタッフがお客様の疑問やご相談をお伺いし、
お客様にあった活用方法をご紹介します。



電話・メールで相談する

30日間の無料お試し期間中から不明点や気になる点について、電話やメールで気軽に相談できます。

お問合せフォームと電話番号は、cybozu.com
共通管理者の方の環境からご確認いただけます

● パートナーに相談する

導入をサポートして欲しい方や、プロに開発を頼みたい方にオススメです。

パートナーは、kintoneの導入前後のお客さまをサポートするサイボウズ公認の協力企業です。
提案・開発・設計・教育など、製品の導入から運用まで、
お客さまの業務改善の伴走者として全力でご支援します。

パートナーに相談できること

・最適なアプリの設計や構築
・業務課題の整理
・システムの全体設計や個別開発
・利用定着・活用促進のお手伝い

詳しくは kintone 活用応援サポート 検索

ご相談窓口はこちら
電話やメールでのご相談も受付してます

https://kintone.cybozu.co.jp/consult/

03-6633-2688 月～金（年末年始・祝日除く）10:00～12:00 / 13:00～17:30